

教 科	種 目	意見書	発行者
道徳	道徳		東京書籍

	着眼点	意見																							
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	■現代的な課題に対応した教材数 ※（ ）は対応する課題が重なっている教材。 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>いじめ関連</td><td>3</td><td>3</td><td>3 (1)</td><td>9 (1)</td></tr><tr><td>情報モラル関連</td><td>2</td><td>2</td><td>3 (1)</td><td>7 (1)</td></tr><tr><td>生命の尊さ</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>9</td></tr></table> ○複数の教材とコラムでユニットを編成する工夫がなされている。 ○読み物教材、イラスト教材、漫画教材、コラムによって、自分の考えを表出できる工夫がなされている。		1 年	2 年	3 年	合計	いじめ関連	3	3	3 (1)	9 (1)	情報モラル関連	2	2	3 (1)	7 (1)	生命の尊さ	3	3	3	9			
		1 年	2 年	3 年	合計																				
	いじめ関連	3	3	3 (1)	9 (1)																				
	情報モラル関連	2	2	3 (1)	7 (1)																				
生命の尊さ	3	3	3	9																					
(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	■視点ごとの教材数 <table><tr><th></th><th>A 自分</th><th>B 人</th><th>C 集団</th><th>D 自然</th><th>合計</th></tr><tr><td>1 年</td><td>7</td><td>7</td><td>14</td><td>7</td><td>35</td></tr><tr><td>2 年</td><td>7</td><td>7</td><td>14</td><td>7</td><td>35</td></tr><tr><td>3 年</td><td>7</td><td>7</td><td>14</td><td>7</td><td>35</td></tr></table> ○同一内容項目の教材は、発達段階をよく考慮して構成されている。		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1 年	7	7	14	7	35	2 年	7	7	14	7	35	3 年	7	7	14	7	35
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																				
1 年	7	7	14	7	35																				
2 年	7	7	14	7	35																				
3 年	7	7	14	7	35																				
(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○全ての読み物教材に「考えよう」を設け、登場人物に自我関与を促す発問が位置付けられている。 ○全ての学年で問題解決的な学習対応教材が配置されている。 ○全ての学年で役割演技を含めた体験的な学習対応教材が配置されている。																								
2	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	○教材最後の「考えよう」には、自我関与したり、体験的、問題解決的に考えたりする発問、「見つめよう」には、自分を見つめて考える発問、「ぐっと深める」には、さらに考えを深める発問が位置付けられている。 ○視点を示すマークと主題が位置付けられている。 ○本文の前に二次元コードが位置付けられている。																							
	(2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	○各学年の巻末に「自分の学びを振り返ろう」を位置付けてあり、学期の終わりや長い休みの前に、その期間で心に残ったことをまとめたり、道徳の学習を振り返って、学んでよかったこと、今後の道徳科の授業にどのように取り組むかを記述したりするページが配置されている。																							
	(3) ICTを活用した学習活動	■二次元コードの個数 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>個数</td><td>47</td><td>47</td><td>45</td><td>139</td></tr></table>		1 年	2 年	3 年	合計	個数	47	47	45	139													
	1 年	2 年	3 年	合計																					
個数	47	47	45	139																					
3	(1) 教科書の厚み、重量	■大きさ：210mm×257mm <table><tr><th>AB 判</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr><tr><td>総ページ</td><td>197</td><td>205</td><td>205</td></tr><tr><td>重量(g)</td><td>374.4</td><td>387.1</td><td>386.7</td></tr></table>	AB 判	1 年	2 年	3 年	総ページ	197	205	205	重量(g)	374.4	387.1	386.7											
	AB 判	1 年	2 年	3 年																					
	総ページ	197	205	205																					
重量(g)	374.4	387.1	386.7																						
(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	○本文にはUDフォントを使用している。 ○UDデザインに配慮している。 ○本文直下、5行ごとに行番が付いている。																								
(3) 上記以外の使用上の便宜	○目次は4つの視点別に教材を色分けしている。 ○巻末には4つの視点別教材一覧表がある。 ○巻末付録には「SDGs」に関連する教材と授業で活用できる「心情円」がある。																								

教 科	種 目	意見書	発行者
道徳	道徳		教育出版

	着眼点	意見																							
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	■現代的な課題に対応した教材数 ※（ ）は対応する課題が重なっている教材。 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>いじめ関連</td><td>2</td><td>2 (1)</td><td>2</td><td>6 (1)</td></tr><tr><td>情報モラル関連</td><td>2</td><td>2 (1)</td><td>1</td><td>5 (1)</td></tr><tr><td>生命の尊さ</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>7</td></tr></table> ○複数の教材とコラムでユニットを編成する工夫がなされている。 ○読み物教材、漫画教材、コラムによって、自分の考えを表出できる工夫がなされている。		1 年	2 年	3 年	合計	いじめ関連	2	2 (1)	2	6 (1)	情報モラル関連	2	2 (1)	1	5 (1)	生命の尊さ	3	2	2	7			
		1 年	2 年	3 年	合計																				
	いじめ関連	2	2 (1)	2	6 (1)																				
情報モラル関連	2	2 (1)	1	5 (1)																					
生命の尊さ	3	2	2	7																					
(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	■視点ごとの教材数 <table><tr><th></th><th>A 自分</th><th>B 人</th><th>C 集団</th><th>D 自然</th><th>合計</th></tr><tr><td>1 年</td><td>8</td><td>8</td><td>12</td><td>7</td><td>35</td></tr><tr><td>2 年</td><td>8</td><td>7</td><td>14</td><td>6</td><td>35</td></tr><tr><td>3 年</td><td>7</td><td>6</td><td>13</td><td>9</td><td>35</td></tr></table> ○発達段階を考慮して、教材配列されている。		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1 年	8	8	12	7	35	2 年	8	7	14	6	35	3 年	7	6	13	9	35
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																				
1 年	8	8	12	7	35																				
2 年	8	7	14	6	35																				
3 年	7	6	13	9	35																				
(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○全ての読み物教材で、登場人物の心情や判断の理由を考える発問が位置付けられている。 ○全ての学年で問題解決的な学習対応教材が配置されている。 ○全ての学年で役割演技を含めた体験的な学習対応教材が配置されている。																								
2	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	■各教材の学習展開 ○教材最初に、主題に関わる発問が位置づけられている。また、教材最後の「学びの道しるべ」には、問題意識をもつための発問、自分を見つめて考える発問、自分を振り返る発問が位置づけられている。 ○視点を示すマークと主題が位置付けられている。 ○本文の前に二次元コードが位置付けられている。																							
	(2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	○各学年の巻末に「道徳科の学びを振り返ろう」が位置付けてあり、学期の終わりや学年末に、心に残った教材や考えさせられた教材を選び、その後の生活につなげて振り返ったり、自分が成長したと思うことを振り返って記述したりするページが配置されている。																							
	(3) ICTを活用した学習活動	■二次元コードの個数 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>個数</td><td>52</td><td>57</td><td>53</td><td>162</td></tr></table>		1 年	2 年	3 年	合計	個数	52	57	53	162													
	1 年	2 年	3 年	合計																					
個数	52	57	53	162																					
3	(1) 教科書の厚み、重量	■大きさ：182mm×257mm <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr><tr><td>B5 判</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>総ページ</td><td>200</td><td>192</td><td>192</td></tr><tr><td>重量(g)</td><td>374.2</td><td>362.0</td><td>361.2</td></tr></table>		1 年	2 年	3 年	B5 判				総ページ	200	192	192	重量(g)	374.2	362.0	361.2							
		1 年	2 年	3 年																					
	B5 判																								
総ページ	200	192	192																						
重量(g)	374.2	362.0	361.2																						
(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	○本文にはUDフォントを使用している。 ○UDデザインに配慮している。 ○本文直下、5行ごとに行番が付いている。																								
(3) 上記以外の使用上の便宜	○目次は4つの視点別に教材を色分けしている。 ○目次には教材の冒頭についている4つの視点のマークの説明を記載している。 ○巻末には4つの視点別の教材一覧表がある。																								

教 科	種 目	意見書	発行者
道徳	道徳		光村図書

	着眼点	意 見																							
1	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	■現代的な課題に対応した教材数 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>いじめ関連</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>9</td></tr><tr><td>情報モラル関連</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>7</td></tr><tr><td>生命の尊さ</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>9</td></tr></table> ○複数の教材とコラムでユニットを編成する工夫がなされている。 ○読み物教材、漫画教材、体験的な学習によって、自分の考えを表出できる工夫がなされている。		1 年	2 年	3 年	合計	いじめ関連	3	3	3	9	情報モラル関連	2	3	2	7	生命の尊さ	3	3	3	9			
		1 年	2 年	3 年	合計																				
	いじめ関連	3	3	3	9																				
情報モラル関連	2	3	2	7																					
生命の尊さ	3	3	3	9																					
(2)各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	■視点ごとの教材数 <table><tr><th></th><th>A 自分</th><th>B 人</th><th>C 集団</th><th>D 自然</th><th>合計</th></tr><tr><td>1 年</td><td>7</td><td>6</td><td>12</td><td>8</td><td>35</td></tr><tr><td>2 年</td><td>7</td><td>7</td><td>12</td><td>7</td><td>35</td></tr><tr><td>3 年</td><td>9</td><td>6</td><td>11</td><td>7</td><td>35</td></tr></table> ○発達段階を考慮し、テーマに沿って複数のユニットを設けて構成されている。		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1 年	7	6	12	8	35	2 年	7	7	12	7	35	3 年	9	6	11	7	35
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																				
1 年	7	6	12	8	35																				
2 年	7	7	12	7	35																				
3 年	9	6	11	7	35																				
(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○全ての読み物教材に「考えよう」を設け、登場人物に自我関与を促す発問がよく位置付けられている。 ○全ての学年で問題解決的な学習対応教材が配置されている。 ○全ての学年で体験的な学習対応教材が配置されている。																								
2	(1)「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	○教材最後の「考えよう」には、道徳的な問題を明らかにする発問、考えを深めるための発問、「見方を変えて」には別の立場や視点からの発問、「つなげよう」には、他の学習や生活をつなぐ発問が位置付けられている。 ○視点を示すマークと主題が位置付けられている。 ○本文の前に二次元コードが位置付けられている。																							
	(2)生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	○各学年の巻末に「まなびの記述」があり、毎時間の授業で考えたことを記述したり、一年間の学習で心に残っていることや、自分がいちばん成長したと思うところを内容項目と関連させながら振り返って記述したりするページが配置されている。																							
	(3)ICTを活用した学習活動	■二次元コードの個数 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>個数</td><td>32</td><td>28</td><td>28</td><td>88</td></tr></table>		1 年	2 年	3 年	合計	個数	32	28	28	88													
	1 年	2 年	3 年	合計																					
個数	32	28	28	88																					
3	(1)教科書の厚み、重量	■大きさ：192mm×257mm <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr><tr><td>B5 変形判</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>総ページ</td><td>184</td><td>192</td><td>192</td></tr><tr><td>重量(g)</td><td>341.3</td><td>353.8</td><td>354.3</td></tr></table>		1 年	2 年	3 年	B5 変形判				総ページ	184	192	192	重量(g)	341.3	353.8	354.3							
		1 年	2 年	3 年																					
	B5 変形判																								
総ページ	184	192	192																						
重量(g)	341.3	353.8	354.3																						
(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	○本文にはUDフォントを使用している。 ○UDデザインに配慮している。 ○本文直下、5行ごとに行番が付いている。																								
(3)上記以外の使用上の便宜	○目次には、教材の冒頭についている4つの視点のマークの説明を記載している。 ○巻末付録には4つの視点別の教材一覧表がある。 ○巻末付録には各学年の学びを補充する資料と、道徳科の授業で活用できる思考ツールを紹介し、学びが広がるようよく工夫されている。																								

教 科	種 目	意見書	発行者
道徳	道徳		日本文教出版

	着眼点	意見																							
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	■現代的な課題に対応した教材数 ※（ ）は対応する課題が重なっている教材。 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>いじめ関連</td><td>6 (2)</td><td>5 (2)</td><td>4</td><td>15 (4)</td></tr><tr><td>情報モラル関連</td><td>3 (2)</td><td>4 (2)</td><td>2</td><td>9 (4)</td></tr><tr><td>生命の尊さ</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>9</td></tr></table> ○複数の教材とコラムでユニットを編成する工夫がなされている。 ○読み物教材、漫画教材、コラム、体験的な学習によって、自分の考えを表出できるよう、よく工夫されている。		1 年	2 年	3 年	合計	いじめ関連	6 (2)	5 (2)	4	15 (4)	情報モラル関連	3 (2)	4 (2)	2	9 (4)	生命の尊さ	3	3	3	9			
		1 年	2 年	3 年	合計																				
	いじめ関連	6 (2)	5 (2)	4	15 (4)																				
情報モラル関連	3 (2)	4 (2)	2	9 (4)																					
生命の尊さ	3	3	3	9																					
(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	■視点ごとの教材数 <table><tr><th></th><th>A 自分</th><th>B 人</th><th>C 集団</th><th>D 自然</th><th>合計</th></tr><tr><td>1 年</td><td>7</td><td>7</td><td>14</td><td>7</td><td>35</td></tr><tr><td>2 年</td><td>6</td><td>7</td><td>14</td><td>8</td><td>35</td></tr><tr><td>3 年</td><td>7</td><td>6</td><td>15</td><td>7</td><td>35</td></tr></table> ○発達段階やキャリア教育をよく考慮して、各学年テーマに沿って複数のユニットを設けて構成されている。		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1 年	7	7	14	7	35	2 年	6	7	14	8	35	3 年	7	6	15	7	35
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																				
1 年	7	7	14	7	35																				
2 年	6	7	14	8	35																				
3 年	7	6	15	7	35																				
(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○全ての読み物教材に「考えてみよう」を設け、登場人物に自我関与を促す発問が位置付けられている。 ○全ての学年で問題解決的な学習対応教材が配置されている。 ○全ての学年で体験的な学習対応教材が配置されている。																								
2	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	○教材最後の「考えてみよう」には、考え議論し、深めるための発問、「自分にプラスワン」には、自分を見つめて考えるための発問がよく位置付けられている。 ○視点を示すマークと主題が位置付けられている。 ○本文の前に二次元コードが位置付けられている。																							
	(2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	○各学年 1 教材 1 ページで構成された別冊の「道徳ノート」があり、自分との関わりで考えたことやこれから大切にしたいことを毎時間記述したり、学期の終わりに心に残っている授業やその理由、道徳科で学んだことを記述したりすることで、自分の学びを振り返る工夫がよくなされている。																							
	(3) ICTを活用した学習活動	■二次元コードの個数 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>個数</td><td>47</td><td>47</td><td>47</td><td>141</td></tr></table>		1 年	2 年	3 年	合計	個数	47	47	47	141													
	1 年	2 年	3 年	合計																					
個数	47	47	47	141																					
3	(1) 教科書の厚み、重量	■大きさ：182mm×257mm <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr><tr><td>B5 判</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>総ページ</td><td>176</td><td>184</td><td>192</td></tr><tr><td>重量(g)</td><td>294.4</td><td>307.7</td><td>314.8</td></tr></table>		1 年	2 年	3 年	B5 判				総ページ	176	184	192	重量(g)	294.4	307.7	314.8							
		1 年	2 年	3 年																					
	B5 判																								
総ページ	176	184	192																						
重量(g)	294.4	307.7	314.8																						
(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	○本文にはUDフォントを使用している。 ○UDデザインに配慮している。 ○本文直下、5 行ごとに行番が付いている。																								
(3) 上記以外の使用上の便宜	○目次には「多様性の尊重とSDGs」について考え合いたい5つのテーマを記号で記載している。 ○目次には「あすへのメッセージ」「視野を広げて」「学びを深めよう」について記号で記載している。 ○巻末には4つの視点別の教材一覧表がある。 ○巻末には郷土に関連する資料がある。																								

教 科	種 目	意見書	発行者
道徳	道徳		学研

	着眼点	意 見																							
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	■現代的な課題に対応した教材数 ※（ ）は対応する課題が重なっている教材。 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>いじめ関連</td><td>6 (1)</td><td>7 (1)</td><td>5 (1)</td><td>18 (3)</td></tr><tr><td>情報モラル関連</td><td>3 (1)</td><td>2 (1)</td><td>2 (1)</td><td>7 (3)</td></tr><tr><td>生命の尊さ</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>9</td></tr></table> ○いじめ問題に関する教材をユニット化せず、関連する教材ごとに「いじめ防止」のマークを表記して年間を通していじめについてよく考えられる工夫がなされている。 ○読み物教材、漫画教材によって自分の考えを表出できる工夫がなされている。		1 年	2 年	3 年	合計	いじめ関連	6 (1)	7 (1)	5 (1)	18 (3)	情報モラル関連	3 (1)	2 (1)	2 (1)	7 (3)	生命の尊さ	3	3	3	9			
		1 年	2 年	3 年	合計																				
	いじめ関連	6 (1)	7 (1)	5 (1)	18 (3)																				
情報モラル関連	3 (1)	2 (1)	2 (1)	7 (3)																					
生命の尊さ	3	3	3	9																					
(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	■視点ごとの教材数 <table><tr><th></th><th>A 自分</th><th>B 人</th><th>C 集団</th><th>D 自然</th><th>合計</th></tr><tr><td>1 年</td><td>8</td><td>7</td><td>13</td><td>7</td><td>35</td></tr><tr><td>2 年</td><td>8</td><td>7</td><td>12</td><td>8</td><td>35</td></tr><tr><td>3 年</td><td>8</td><td>7</td><td>13</td><td>7</td><td>35</td></tr></table> ○節目にユニット学習を設けることで、一つのテーマで価値の異なる教材を連続して学び、系統的、発展的に考えることがよくできるよう工夫がなされている。		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1 年	8	7	13	7	35	2 年	8	7	12	8	35	3 年	8	7	13	7	35
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																				
1 年	8	7	13	7	35																				
2 年	8	7	12	8	35																				
3 年	8	7	13	7	35																				
(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○全ての読み物教材で、自我関与がよくできるよう、登場人物の心情、判断や言動の理由を考える発問が位置付けられている。 ○全ての学年で問題解決的な学習対応教材が配置されている。 ○全ての学年で体験的な学習対応教材が配置されている。																								
2	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	○教材の最初に、主題に関わるフレーズを位置付けている。教材最後の「考えよう」には、展開で中心となる発問と、自分を見つめて考える発問がよく位置付けられている。 ○視点を示すマークが位置付けられている。 ○本文の前に二次元コードが位置付けられている。																							
	(2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	○各学年の巻末に「学びのメモ」と「学びの記録」があり、日々の道徳の授業で気付いたことを書き留めたり、学期ごとに心に残った授業の感想や学んでよかったこと、これから生かしたいことを振り返って記述したりして、学びを振り返る工夫がよくなされている。																							
	(3) ICTを活用した学習活動	■二次元コードの個数 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>個数</td><td>14</td><td>14</td><td>13</td><td>41</td></tr></table>		1 年	2 年	3 年	合計	個数	14	14	13	41													
	1 年	2 年	3 年	合計																					
個数	14	14	13	41																					
3	(1) 教科書の厚み、重量	■大きさ：210mm×257mm <table><tr><th>AB 判</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr><tr><td>総ページ</td><td>187</td><td>191</td><td>195</td></tr><tr><td>重量(g)</td><td>358.0</td><td>365.9</td><td>372.6</td></tr></table>	AB 判	1 年	2 年	3 年	総ページ	187	191	195	重量(g)	358.0	365.9	372.6											
	AB 判	1 年	2 年	3 年																					
	総ページ	187	191	195																					
重量(g)	358.0	365.9	372.6																						
(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	○本文にはUDフォントを使用している。 ○UDデザインに配慮している。 ○本文直下、5行ごとに行番が付いている。																								
(3) 上記以外の使用上の便宜	○目次は4つの視点別に教材を色分けしている。 ○内容項目のマークが大きく、ユニバーサルデザインによく配慮されている。 ○巻末には4つの視点別の教材一覧表がある。																								

教 科	種 目	意見書	発行者
道徳	道徳		あかつき教育図書

	着眼点	意見																							
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	■現代的な課題に対応した教材数 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>いじめ関連</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>7</td></tr><tr><td>情報モラル関連</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>7</td></tr><tr><td>生命の尊さ</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>9</td></tr></table> ○複数の教材とコラムでユニットを編成する工夫がなされている。 ○読み物教材、コラム、体験的な学習によって、自分の考えを表出できる工夫がなされている。		1 年	2 年	3 年	合計	いじめ関連	3	2	2	7	情報モラル関連	3	2	2	7	生命の尊さ	3	3	3	9			
		1 年	2 年	3 年	合計																				
	いじめ関連	3	2	2	7																				
情報モラル関連	3	2	2	7																					
生命の尊さ	3	3	3	9																					
(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	■視点ごとの教材数 <table><tr><th></th><th>A 自分</th><th>B 人</th><th>C 集団</th><th>D 自然</th><th>合計</th></tr><tr><td>1 年</td><td>8</td><td>7</td><td>12</td><td>8</td><td>35</td></tr><tr><td>2 年</td><td>8</td><td>7</td><td>12</td><td>8</td><td>35</td></tr><tr><td>3 年</td><td>8</td><td>7</td><td>12</td><td>8</td><td>35</td></tr></table> ○発達段階を考慮し、テーマに沿って複数のユニットを設けて構成されている。		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1 年	8	7	12	8	35	2 年	8	7	12	8	35	3 年	8	7	12	8	35
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																				
1 年	8	7	12	8	35																				
2 年	8	7	12	8	35																				
3 年	8	7	12	8	35																				
(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○全ての読み物教材に「自分との対話」を設け、自分との関わりで考える発問が位置付けられている。 ○全ての学年で問題解決的な学習対応教材が配置されている。 ○1 年生で役割演技を含めた体験的な学習対応教材が配置されている。																								
2	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	○教材の最後に「自分を見つめて考える」ための発問、「いろいろな見方で考える」ための発問、「考えを深める」には、さらに考えを深めるための発問、「自分との対話」には、自分に問い直す発問が位置付けられている。 ○視点を示すマークが位置付けられている。 ○本文の前に二次元コードが位置付けられている。																							
	(2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	○各学年の巻末に「学びのメモ」と「学びの記録」があり、日々の道徳の授業で気付いたことを書き留めたり、学期ごとに心に残った授業の感想や学んでよかったこと、これから生かしたいことを振り返って記述したりすることで、自分の学びを振り返る工夫がよくなされている。																							
	(3) ICTを活用した学習活動	■二次元コードの個数 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>個数</td><td>14</td><td>17</td><td>19</td><td>50</td></tr></table>		1 年	2 年	3 年	合計	個数	14	17	19	50													
	1 年	2 年	3 年	合計																					
個数	14	17	19	50																					
3	(1) 教科書の厚み、重量	■大きさ 182mm×257mm <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr><tr><td>B5 判</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>総ページ</td><td>184</td><td>184</td><td>184</td></tr><tr><td>重量(g)</td><td>320.4</td><td>319.3</td><td>319.6</td></tr></table>		1 年	2 年	3 年	B5 判				総ページ	184	184	184	重量(g)	320.4	319.3	319.6							
		1 年	2 年	3 年																					
	B5 判																								
総ページ	184	184	184																						
重量(g)	320.4	319.3	319.6																						
(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	○本文にはUDフォントを使用している。 ○UDデザインに配慮している。 ○本文直下、5 行ごとに行番が付いている。																								
(3) 上記以外の使用上の便宜	○目次には、教材の冒頭についている 4 つの視点のマークの説明を記載している。 ○巻末付録には 4 つの視点別の教材一覧表がある。 ○巻末付録にはSDGs と郷土に関連する資料がある。																								

教 科	種 目	意見書	発行者
道徳	道徳		日本教科書

	着眼点	意見																							
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	■現代的な課題に対応した教材数 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>いじめ関連</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td><td>11</td></tr><tr><td>情報モラル関連</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>5</td></tr><tr><td>生命の尊さ</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>5</td></tr></table> ○いじめ問題に関する複数の教材をユニット化せずいじめについて年間を通して考える工夫がなされている。 ○読み物教材、自分の考えを記述する欄、体験的な学習によって、自分の考えを表出できる工夫がなされている。		1 年	2 年	3 年	合計	いじめ関連	4	4	3	11	情報モラル関連	2	2	1	5	生命の尊さ	2	2	1	5			
		1 年	2 年	3 年	合計																				
	いじめ関連	4	4	3	11																				
	情報モラル関連	2	2	1	5																				
生命の尊さ	2	2	1	5																					
(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	■視点ごとの教材数 <table><tr><th></th><th>A 自分</th><th>B 人</th><th>C 集団</th><th>D 自然</th><th>合計</th></tr><tr><td>1 年</td><td>8</td><td>7</td><td>13</td><td>6</td><td>35</td></tr><tr><td>2 年</td><td>7</td><td>6</td><td>15</td><td>6</td><td>35</td></tr><tr><td>3 年</td><td>9</td><td>7</td><td>14</td><td>3</td><td>35</td></tr></table> ○ユニットや学習時期を設けず、発達段階や行事に応じて教材を選択できるように視点やテーマ別に構成されている。		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1 年	8	7	13	6	35	2 年	7	6	15	6	35	3 年	9	7	14	3	35
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																				
1 年	8	7	13	6	35																				
2 年	7	6	15	6	35																				
3 年	9	7	14	3	35																				
(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○全ての読み物教材に「考えよう」を設け、心情や自分の考えを問う発問が位置付けられている。 ○全ての学年でウェルビーイングカードを活用した問題解決的な学習対応教材が配置されている。 ○全ての学年でウェルビーイングカードを活用した体験的な学習対応教材が配置されている。																								
2	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	○教材最後の「考えよう」には、本時の中心となる発問、「深めよう」には、さらに考えを深めるための発問が位置付けられている。 ○視点を示すマークが位置付けられている。 ○本文の前に二次元コードが位置付けられている。																							
	(2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	○各学年、各教材の最後のページに「memo」欄があり、授業で気付いたことや自分の考えを自由に記述することができる。また、巻末付録のウェルビーイングカードを使って考えたり話し合ったりしたことを記述するページが配置されている。																							
	(3) ICTを活用した学習活動	■二次元コードの個数 <table><tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr><tr><td>個数</td><td>24</td><td>24</td><td>14</td><td>62</td></tr></table>		1 年	2 年	3 年	合計	個数	24	24	14	62													
	1 年	2 年	3 年	合計																					
個数	24	24	14	62																					
3	(1) 教科書の厚み、重量	■大きさ：210mm×257mm <table><tr><th>AB 判</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr><tr><td>総ページ</td><td>156</td><td>160</td><td>164</td></tr><tr><td>重量(g)</td><td>321.1</td><td>328.5</td><td>334.5</td></tr></table>	AB 判	1 年	2 年	3 年	総ページ	156	160	164	重量(g)	321.1	328.5	334.5											
	AB 判	1 年	2 年	3 年																					
	総ページ	156	160	164																					
重量(g)	321.1	328.5	334.5																						
(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	○本文にはUDフォントを使用している。 ○UDデザインに配慮している。 ○本文直下、5行ごとに行番が付いている。																								
(3) 上記以外の使用上の便宜	○目次は4つの視点別に教材を色分けしている。 ○目次には教材の冒頭についている4つの視点のマークの説明を記載している。 ○巻末付録には郷土資料と「ウェルビーイングカード」の補助教材があり、自我関与を促すためによく工夫されている。																								

